

投稿規定

— 改訂 2026年 7 月 —

1. 「計算機統計学」への投稿区分は、原著論文・総合報告・ソフトウェア記事とする。以下、これらを一括して「論文等」とする。
 - 原著論文は、計算機統計学分野に係わる統計解析、統計的方法論とそのソフトウェアに関する基礎および応用の独創的な研究報告とする。
 - 総合報告は、関係する研究について多角的な観点をもってまとめられたサーベイや、データ解析における既存の手法の有用な応用例を示したものなどとする。
 - ソフトウェア記事は、計算機統計学分野に係わるソフトウェアやプログラムの紹介とする。若干の商的色彩を含んでもよいが、掲載の適否は編集委員会において判断する。
2. 論文等の著者のうち、少なくとも1名は日本計算機統計学会の会員（総合報告・ソフトウェア記事については、著者が賛助会員に所属する場合を含む）でなければならない。ただし、編集委員会が特に執筆を依頼した場合はこの限りではない。
3. 論文等は未公開であり、かつ、他の刊行物に投稿中であってはならない。
4. 論文等は、刷り上がりを想定し、別に定める「執筆要項」に従い作成すること。
5. 論文等は、原則として、刷り上がりを想定し作成された PDF ファイルを、論文投稿・査読システム

<https://www.editorialmanager.com/bcsj/>

から投稿するものとする。なお、投稿時には、諸連絡で使用する電子メールアドレスの登録が必要となる。

6. 論文等はすべて複数の査読者によって査読される。
7. 著者校正は初校のみとし、誤植以外の訂正、挿入、削除は原則として認めない。
8. 本誌に掲載された論文等には、別に定める「著作権等について」が適用される。また、他誌に掲載された論文等を引用する際には、著作権に留意すること。
9. 論文等の掲載料は次のとおりとする。
 - 原著論文・総合報告については、掲載料を課さない。ただし、執筆要項にある頁制限を超過するものについては、超過1頁あたり5,000円を課す。
 - ソフトウェア記事については、刷り上がり1頁あたり15,000円の掲載料を課す。ただし、無償で公に供することを前提とする（“public domain”におかれる）ソフトウェアに関する内容の場合は無償とするほか、編集委員会が特に認めた場合はこの限りではない。無償掲載の場合においても、刷り上がり24頁を超過する場合は、超過1頁あたり5,000円の掲載料を課す。
 - カラーページについては、著者の要望により可能であるが、費用については著者の負担とする。
10. 本誌発行時、著者の請求により、論文等の PDF ファイルを無償で提供し、別刷を有償で提供する。別刷の料金は次のとおりとする。

別刷料金（依頼による論文等については、別に編集委員会で定める。）

価格＝基本料金 3,000円＋論文等総ページ数に応じた単価（下カッコ内参照）×部数＋消費税
（1－8頁まで 40円、9－16頁まで 60円、17－24頁まで 80円、25－32頁まで 100円）

例 8ページ論文の別刷50部の場合 3,000+(40×50)+消費税

10ページ論文の別刷100部の場合 3,000+(60×100)+消費税

掲載までの過程における査読結果の返送、ファイル送付などはすべて論文投稿・査読システムを介して行われる。

なお、本規定改訂前に投稿された論文等の取り扱いは、従前の規定による。